

点検活動で見つかった危険箇所の改善例

改善前

坂道にある見通しの悪いカーブで、スピードを落とさずに走る車が多く危険でした。



改善



改善後

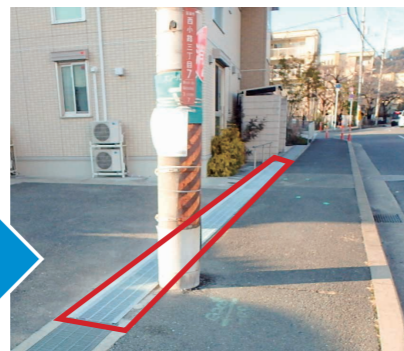
カラー舗装した段差を連続して設置することで、ドライバーに減速を促しました。

改善前

側溝にふたがないため、歩行者が転落する危険がありました。



改善



改善後

側溝への転落を防止するためにふたを設置し、歩行者の安全を確保しました。

改善前

歩道が狭く、横断待ちのスペースが十分にとれないため、左折車などが歩行者を巻き込む恐れがあり危険でした。



改善



改善後

歩道を広くして横断待ちのスペースを確保するとともに、ドライバーに歩道の幅を意識させるため、ポールを設置しました。

今年の危険箇所・問題箇所の点検活動は、青少年指導員や青少年を守る会など、関係者のみで実施します。

今年も、各校区で、右記のとおり点検活動を行います。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、今回は活動の規模を縮小し、青少年指導員や青少年を守る会など、関係者のみで実施します。

市民のみなさんには、ぜひ家の周りなどを点検していただき、気付いた点があれば青少年育成室(☎724・6968)へお電話ください。

校区名	実施日
箕面小学校	6月5日(土)
止々呂美小学校	5月29日(土)
萱野小学校	6月12日(土)
北小学校	6月12日(土)
南小学校	5月23日(日)
西小学校	5月16日(日)
東小学校	6月26日(土)
西南小学校	6月26日(土)
萱野東小学校	5月8日(土)
豊川北小学校	6月12日(土)
中 小学校	5月22日(土)
豊川南小学校	5月15日(土)
萱野北小学校	6月19日(土)
彩都の丘小学校	6月5日(土)

子どもたちの安全確保のため、箕面市の青少年指導員が中心となって、毎年5月から6月にかけて全市の通学路を歩いて「危険箇所・問題箇所点検」を実施しています。

通学路に潜む危険箇所を見つけるためには、より多くの人数で点検することが大切です。この点検活動を通して、毎年500件以上の危険箇所を改善しています。

なお、今年の「危険箇所・問題箇所点検」は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、活動の規模を縮小し、青少年指導員や青少年を守る会など、関係者のみで実施します。市民のみなさんには、ぜひ家の周りなどを点検していただき、気付いた点があれば青少年育成室(☎724・6968)へお電話ください。

青少年指導員とは?

青少年指導員は、市長から委嘱を受け、地域の青少年の健全育成のために活動しています。小学校区ごとに6人で、子どもの安全を守るための登校指導、危険箇所・問題箇所の点検活動、「飛び出し坊や」などの交通安全看板の設置・補修のほか、各団体と協力してさまざまな地域行事を行っています。

全国でも非常に珍しい約40年前から毎年点検活動を実施! 見つかった危険箇所は、市で順次改善しています



箕面市では、危険箇所・問題箇所の点検活動が、約40年前から行われています。青少年指導員が中心となって、青少年を守る会、子どもたちや地域住民、PTA、教職員、市職員、警察など毎年約1,000人が参加し、小学校区ごとに班に分かれて、実際に通学路を歩いて点検します。

見つかった危険箇所は、青少年指導員が取りまとめ、市に報告します。市では、この報告をもとに、毎年500件以上の危険箇所を改善しています。

「約40年前から、毎年、地域ぐるみで点検活動が行われ、見つかった危険箇所を市が改善する」。これは全国でも非常に珍しい取り組みです。



箕面市では、点検活動で報告された危険箇所・問題箇所の改善に優先的に取り組んでいます。今後さらに地域との連携を強化し、改善を進めていきます。

通学路を安全に!



危険箇所・問題箇所の点検活動を実施します

青少年育成室
☎724・6968
FAX724・6010